

ドッジボール競技規則

1 チーム

- ・ チームは、1チーム登録13名以上15名以内で構成し、チームには必ず監督をおく。
- ・ 試合開始時には、コート上に13名のプレイヤーが出場していなければならない。

※メンバー内訳は内野エリア10名、外野エリア3名、補欠2名とする。

- ・ 混合の構成については、男子・女子職員各1名(女子職員2名でも可)、男子本人6名以内とする。

※職員の配置は、内野エリアと外野エリアへ各1名ずつとする。

2 コート

- ・ コートは、片面9m×9mの6人制バレーボールのサイズで行う。

3 用具

- ・ ボールは、日本ソフトバレー連盟公認球を使用する。

4 審判員

- ・ 審判員は、主審1名、副審1名、タイムキーパー(記録員を兼ねる)1名とする。

5 競技方法(ルール)

- ・ 試合形式は3セットマッチとする。

- ・ 試合時間は原則として1セット5分間とする。

- ・ セットとセットの間には、2分間の休息時間を設ける。

- ・ 勝敗は2セット先取で決定とする。(第3セットがない場合がある)

- ・ 3セット目が同点の場合は、得失点とする。なおも同点の場合は、代表者3名のじゃんけんとする。

- ・ セットの勝敗は、セット終了時内野に残っているプレイヤー(本人)が多い方のチーム、又は相手の内野プレイヤーを全員アウトにしたチームが勝利とする。

- ・ 試合を開始するときのボールは、各セット毎にじゃんけんで権利を決定する。また、各セット毎にコートチェンジを行う。

- ・ 内野プレイヤーはゼッケン、職員は赤色の腕章を必ず着用する。

- ・ 内野プレイヤーはアウトになると、すみやかにベンチに戻る。(セット中は内野と外野の移動はしない)

・ ゲーム中の選手交代については、セット毎の交代のみ認める。但しけが等緊急の場合は別とする。

※交代がある場合は、すみやかに監督が審判に報告する義務がある。

・ 競技中の審判の判定について、抗議、アピールをしてはならない。

・ 職員については、ボールのキャッチのみとし、ボールはすぐに同一エリア内の本人に渡す。競技中、顔面に相手チームの投げたボールが当たった場合はノーカウントになり、当てられたチームの持ち球になる。

・ ボールデッドゾーンに出たボールについては主審の判断によりボールの権利があるチームへ渡す。また、主審の判断等によりタイムキーパーはコート周辺のボールネット(卓球ネット)からボールが出て再開するまで時間(ストップウォッチ)を止める。

・ ラインを超えて投げたり、受けたボールは、相手チームのボールとなる。

